

2年次後期・選択

1単位・15時間

【概要・目標】

「食の科学」で得た知識をもとに臨床栄養学の概念、食事療法の基準と実際について理解する。一般栄養学、エネルギー制限食、他の治療食の必要性について理解し、各種病態や疾患の治療法と栄養療法を統合的に整理することを目的とする。生活習慣病に代表される疾患の予防についても学ぶ。

【授業内容のスケジュール】

- 1) 病態栄養学の概念 食事療法と看護
 - 2) 消化器疾患の食事療法
 - 3) 代謝性疾患の食事療法
 - 4) 糖尿病の食事療法
 - 5) 呼吸・循環器疾患の食事療法
 - 6) 腎疾患の食事療法
 - 7) 感染症、免疫疾患の食事療法
 - 8) アレルギー疾患の食事療法
-

【評価】

試験 (70%)、小テスト (0%)、発表 (10%)、提出物 (レポート等) (10%)、出席状況 (10%)、参加態度 (0%)、その他 (0%)

【教科書】

講義プリント

【推薦参考図書】

系統看護学講座 別巻「栄養食事療法」医学書院
富野康日己編集「症状・疾患別食事指導の看護へのいかしかた」医歯薬出版
武田英二著 「臨床病態栄養学」 文光堂

【その他】